

# 大分県長期漁海況予報

〔平成 25(2013)年 10 月～12 月までの海水温・漁模様の見通し〕



大分県農林水産研究指導センター水産研究部

879-2602 大分県佐伯市上浦大字津井浦 194-6

Phone0972-32-2155 Fax.0972-32-2156 <http://www.mfs.pref.oita.jp>

## 海況経過<平成 25 年 4～9 月>

### ■黒潮

都井岬では 4 月～5 月中旬まで接岸傾向となり、5 月下旬から 6 月は小蛇行が形成され離岸傾向で推移しました。7 月は接岸傾向、8 月・9 月は離岸傾向で推移しました。

### ■水温

豊後水道の水温(0～75m層)は、4 月は「やや高め」、5 月は「やや低め」、6 月～7 月は「やや高め」になり、9 月は「やや低め」で推移しました。(図1)。なお、8 月は観測船がドックのため、欠測となっています。

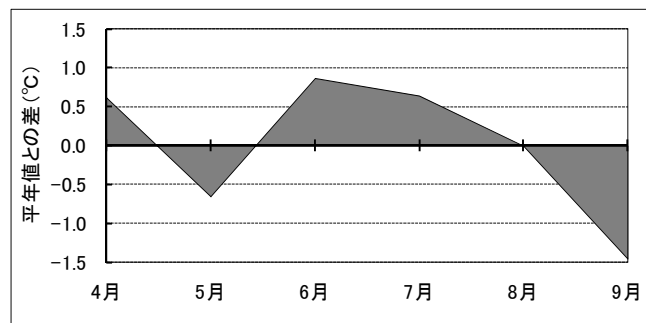


図1 豊後水道における水温の平均値との差(0～75m層の平均値)

### ■塩分

豊後水道の塩分(0～75m層)は、4 月～9 月は「平年並み」で推移しました。(図2)。なお、8 月は観測船がドックのため、欠測となっています。

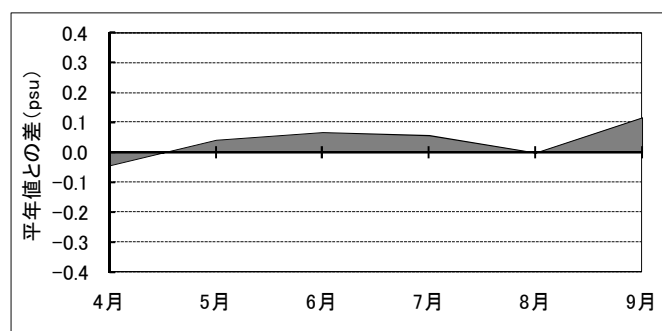


図2 豊後水道における塩分の平均値との差(0～75m層の平均値)

## 今後の海況の見通し＜平成 25 年 10～12 月＞

### ■黒潮

足摺岬沖では、接岸傾向であるが、10～12 月に小蛇行の東進により一時的に離岸するでしょう。

### ■沿岸水温

「平年並み」～「高め」で推移するでしょう。

### ■予測の説明と根拠

- ・黒潮流路予測は平成 25 年度第 1 回太平洋いわし類・マアジ・さば類等長期漁海況予報(中央水産研究所及び関係府県:2013)を参考にしました。
- ・沿岸水温は気温の影響を強く受けると考えられます。福岡管区気象台の「九州北部地方3ヶ月予報」では、10～12月の平均気温は「低め30%、平年並み40%、高め30%」と予測しており、特に10月は気温が高めの確率が50%でした。そのため10～12月の沿岸水温を「平年並み」～「高め」と予測しました。

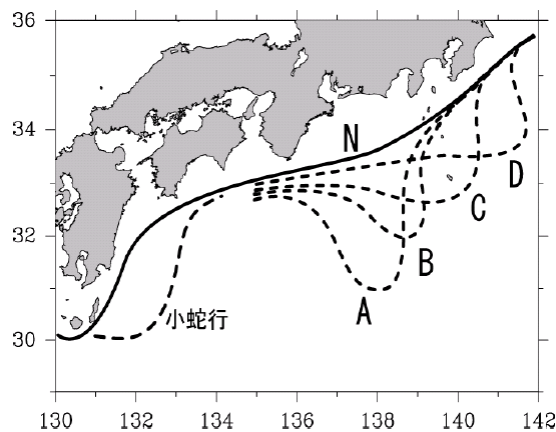


図 3 黒潮流型の分類

※上図は平成 25 年度第 1 回太平洋いわし類・マアジ・さば類等長期漁海況予報(水産庁プレスリリース資料)より引用

## ■マイワシ

### 2013年4～8月の漁況経過

2013年4～8月における豊後水道南部主要3港(鶴見、米水津、蒲江)のまき網によるマイワシの漁獲量は、4月・5月・6月はほとんど漁獲がなく、7月に116トン、8月に761トンの計878トンでした。前年比284%、(用語解説①) 16%と、前年を上回り、平年を下回る漁獲量となりました。

漁獲の主体は、7月は佐伯湾・豊後水道で被鱗体長(用語解説②)10～13cm前後の0歳魚(2013年生まれ)、8月は豊後水道で11～14cm前後の0歳魚(2013年生まれ)でした。

なお、近隣海域(用語解説④)では宮崎県は前年の31%の漁獲量となっています(2013年4～6月)。

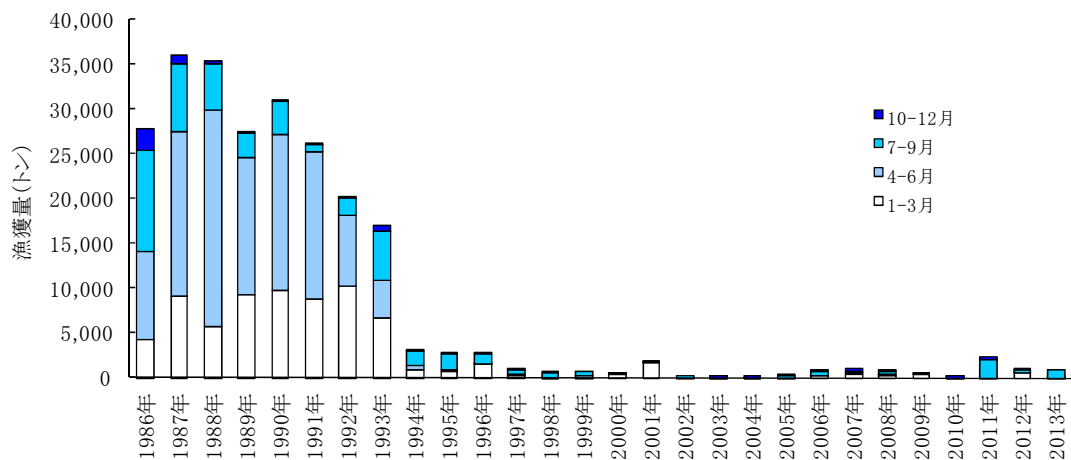


図4 マイワシのまき網における漁獲量(鶴見・米水津・蒲江支店)

## 今後の見通し<平成25年10～12月>

### 来遊水準:

豊後水道への来遊量は、前年並みでしょう。



### 漁獲対象年級群及び体長:

10月は被鱗体長12～18cmの0歳魚(2013年生まれ)が主体となるでしょう。

### 【説明】

2013年1～3月の日向灘～豊後水道海域(大海区Ⅲ)におけるマイワシの産卵量(2013年4月の瀬戸内海東部カタクチイワシ漁況予報会議時における暫定値)が前年を下回ったことと(前年比63%)、本県における4～6月の漁獲主体である2013年級群の漁獲量が前年を大きく下回ったことから、来遊水準は前年を下回ると予想できますが、8月に前年を大きく上回る漁獲があったことを考慮し、来遊水準は平年と比べ依然として低水準ですが、前年並みであると予測されます。

## ■カタクチイワシ(成魚)

### □2013年4～8月の漁況経過

2013年4～8月における豊後水道南部主要3港(鶴見、米水津、蒲江)のまき網によるカタクチイワシの漁獲量は、4月に118トン、5月に106トン、6月に552トン、7月に1,534トン、8月に1743トンの計4,053トンでした。前年比239%、平年比262%と、前年・平年を上回る漁獲量となりました。

漁獲の主体は、6月は佐伯湾で被鱗体長9～11cm前後の1歳魚(2012年生まれ)、7月は佐伯湾で9～13cm前後の1歳魚(2012年生まれ)、8月は8cm以下の0歳魚(2013年生まれ)でした。なお、宮崎県では前年の127%、愛媛県では前年の133%の漁獲量となっています。(2013年4～6月)。

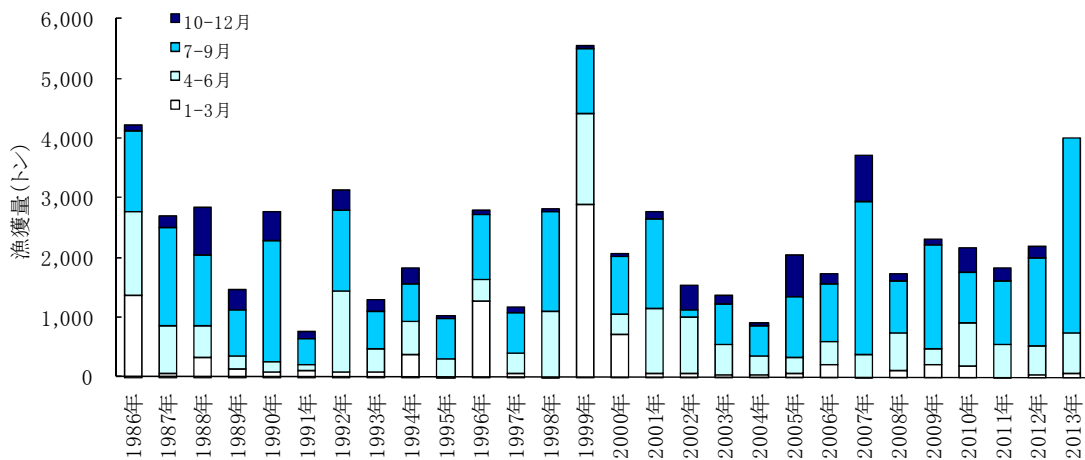


図5 カタクチイワシのまき網における漁獲量 (鶴見・米水津・蒲江支店)

## 今後の見通し<平成25年10～12月>

### 来遊水準:

豊後水道への来遊量は、前年を上回るでしょう。



### 漁獲対象年級群及び体長:

9月は0歳魚(2013年生まれ)と1歳魚(2012年生まれ)が混じり、10～12月は被鱗体長4～9cmの0歳魚(2013年生まれ)が主体となるでしょう。

### 【説明】

0歳魚(2013年級群)の資源量水準は2013年1～3月の北薩～豊後水道におけるカタクチイワシの産卵量(2013年4月の瀬戸内海東部カタクチイワシ漁況予報会議時における暫定値)が前年を下回ったが(前年比80%)、豊後水道における2012年4～6月のシラス漁が前年を上回っていること(豊後水道における生シラス出荷量:前年比120%)から、0歳魚の資源量水準は、前年並みか、やや増加傾向で推移すると思われます。また、2013年8月は平年に比べ豊漁であり、その漁獲主体は0歳魚であったことを加味すると豊後水道への来遊量は、前年を上回ると考えられるでしょう。

## ■ウルメイワシ

### □2013年4～8月の漁況経過

2013年4～8月における豊後水道南部主要3港(鶴見、米水津、蒲江)のまき網によるウルメイワシの漁獲量は、4月に67トン、5月に0トン、6月に172トン、7月に219トン、8月に686トンの計1,144トンでした。前年比33%、平年比174%と、前年を下回り平年を上回る漁獲量となりました。

漁獲の主体は、6月は佐伯湾では被鱗体長7～10cm前後の0歳魚(2013年生まれ)、豊後水道では被鱗体長9～11cm前後の0歳魚(2013年生まれ)、7月は佐伯湾では7～11cm前後の0歳魚(2013年生まれ)、豊後水道では9～13cm前後の0歳魚(2013年生まれ)、8月は豊後水道で9～14cm前後の0歳魚(2013年生まれ)でした。

なお、宮崎県では前年の348%、高知県では前年の75%の漁獲量となっています。(2013年4～6月)。

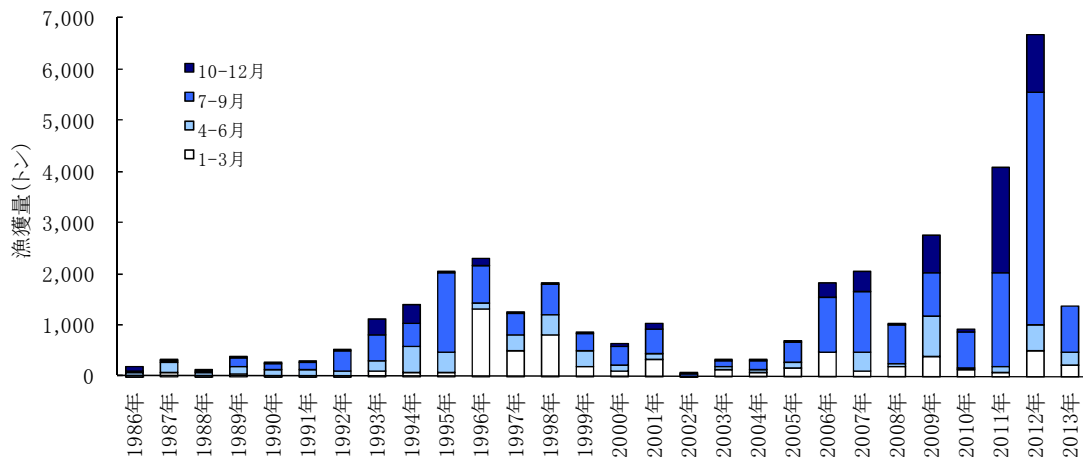


図6 ウルメイワシのまき網における漁獲量 (鶴見・米水津・蒲江支店)

## 今後の見通し<平成25年10～12月>

### 来遊水準:

豊後水道への来遊量は、前年を下回るでしょう。



### 漁獲対象年級群及び体長:

10～12月は被鱗体長10～15cmの0歳魚(2013年生まれ)が漁獲の主体となるでしょう。

### 【説明】

漁獲の主体となる0歳魚(2013年級群)の資源量水準は、4～7月のまき網漁獲量(0歳魚主体)が前年を下回ったため(前年比33%)、前年を下回ると考えられます。しかし来遊水準については2011年および2012年が1986年以来過去最高水準の漁獲であることと、その2年間の漁獲の傾向から10～12月に平年を上回る漁獲が予想されることを考慮し、平年は上回るが、前年を下回ると推測します。

## ■マアジ

### □2013年4～8月の漁況経過

2013年4～8月における豊後水道南部主要3港(鶴見、米水津、蒲江)のまき網によるマアジの漁獲量は、4月にほとんど漁獲がみられず、5月に33トン、6月に97トン、7月に41トン、8月に113トンの計284トンでした。前年比137%、平年比23%と、前年を上回り、平年を下回る漁獲量となりました。

漁獲の主体は、6月は佐伯湾で尾叉長<sup>(用語解説⑤)</sup>17～20cm前後の1歳魚(2012年生まれ)でした。

なお、高知県では前年の99%、宮崎県では前年の46%の漁となっています(2013年4～6月)。

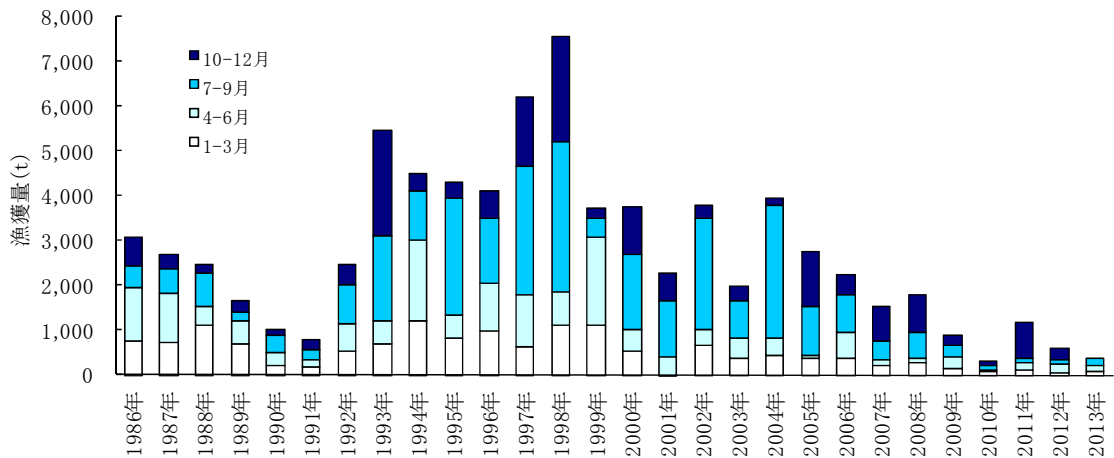


図8 マアジのまき網における漁獲量(鶴見・米水津・蒲江支店)

## 今後の見通し<平成25年10～12月>

### 来遊水準:

豊後水道への来遊量は、低水準であった前年並みでしょう。



### 漁獲対象年級群及び体長:

尾叉長8～18cmの0歳魚(2013年生まれ)が漁獲の主体で、1歳魚以上が混じるでしょう。

### 【説明】

漁獲の主体となる0歳魚(2013年級群)の資源量水準は、入網の主体が0歳魚(2013年級群)となる県南の定置網での4～6月の漁獲(ゼンゴ、小アジ)が前年並みであることから判断し(前年比94%)、来遊水準は低水準であった前年並みで推移すると考えられます。

## ■さば類

### □2013年4～8月の漁況経過

2013年4～8月における豊後水道南部主要3港(鶴見、米水津、蒲江)のまき網によるさば類の漁獲量は、4月に512トン、5月に1トン、6月に3トン、7月に3トン、8月に42トンの計561トンでした。前年比50%、平年比24%と、前年・平年を下回る漁獲量となりました。

漁獲の主体は、6月は尾叉長が30cm前後の1歳魚(2012年生まれ)、7月は豊後水道で16～19cm前後の0歳魚(2013年生まれ)でした。

なお、高知県では前年の26%、宮崎県では前年の93%の漁獲量となっています(2013年4～6月)。

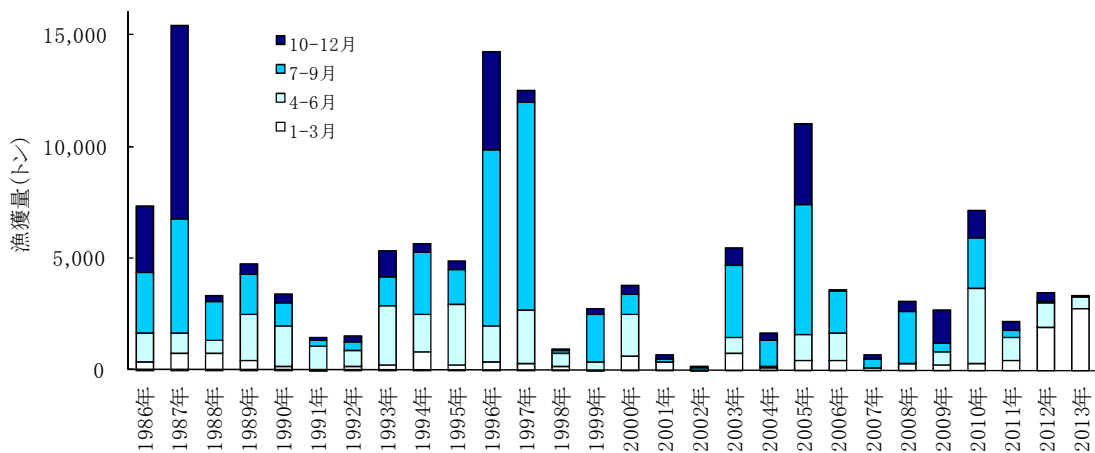


図9 さば類 (マサバ・ゴマサバ) のまき網における漁獲量 (鶴見・米水津・蒲江支店)

## 今後の見通し<平成25年10～12月>

### 来遊水準:

豊後水道への来遊量は、前年並みでしょう。



### 漁獲対象年級群及び体長:

例年は尾叉長30cm前後のゴマサバ1歳魚(2012年生まれ)が主体で、2歳魚(2011年生まれ)以上は混じる程度でしょう。

### 【説明】

まき網によるサバ類の漁獲量は5月以降大幅に減少しているため、予測期間中の好漁は期待しにくいと考えられます。また、近県に関しても5～6月は目立った漁獲はありませんでした。近年の傾向から、10月に漁獲量は増えますが、11月12月はほとんど漁獲は見られなくなることを考慮し、予測期間中の来遊水準は前年並みでしょう。

種については、2013年4～8月のまき網での漁獲主体は0歳魚(2012年級群)の多くがゴマサバであったため例年通りゴマサバ主体になると考えられます。

## その他

### ■予測の根拠および参考資料

・平成25年度第1回太平洋いわし類・マアジ・さば類等長期漁海況予報(中央水産研究所及び関係府県:2013)

### ■用語解説

- ①平年比：1986～2012年までの比
- ②被鱗体長：体の前端から、尾柄の鱗で覆われている部分の後端までの直線距離。
- ③モード:度数の最も多い数値、階級値。
- ④近隣海域：ここでは、3県（宮崎県・愛媛県・高知県）の海域とする。
- ⑤尾叉長：体の前端から、尾びれの湾入部内縁中央(くびれている部分)までの直線距離。

### ■問い合わせ先

この予報に関する問い合わせ先は、大分県農林水産研究指導センター水産研究部 栽培資源チームまで。

〒879-2602 大分県佐伯市上浦大字津井浦194-6

電話:0972-32-2155

FAX:0972-32-2156